



令和3年3月31日

報道機関 各位

国立市長室広報・広聴係

2050年ゼロカーボンシティに向けた地球温暖化対策事業

友好交流都市の北秋田市と 森林整備の実施に関する協定を結びました

令和3年国立市議会第1回定例会の市長施政方針演説のなかで、市は2050年までに「ゼロカーボンシティ」をめざしていくことを表明し、市民、事業者、行政が一丸となり、国立市域の温室効果ガスの削減に取り組んでいるところです。

今回、友好交流都市協定を結ぶ秋田県北秋田市と、自治体間連携による森林整備事業を令和3年度から実施することとなり『国立市と北秋田市との森林整備の実施に関する協定書』を取り交わしました。

本事業は、地球環境を守り、低炭素社会の実現を図るため、森林整備などを目的に創設された森林環境譲与税を用いて、間伐等の森林整備を継続的に実施します。そこで得られるCO₂吸収量について、秋田県の認証制度によりCO₂吸収量の認証を得て、国立市から発生する温室効果ガスと相殺するカーボンオフセットの取り組みとなります。

北秋田市は約3,000ヘクタールに及ぶ広大な市有林があり、毎年度20～30ヘクタールの間伐を実施していく計画で、このなかから、国立市と北秋田市の連携による森林整備事業を実施し、継続的に毎年度100t-CO₂以上のカーボンオフセット量が得られる見込みです。

今後も、市民、事業者、行政がそれぞれの立場で、温室効果ガスを削減し、地球温暖化防止に向けた取り組みを推進してまいります。

このことを市内外に広く周知したく、ぜひ、貴媒体での取材・掲載方、お願いいたします。

問い合わせ

国立市生活環境部 環境政策課環境政策係
TEL：042-576-2111（内線135）